



子どもはさまざまな素晴らしい力を持って生まれてきます。成長や発達にあわせて、支援を受けたり調整を手伝ってもらえれば、その力を発揮することができます。

2023年には、“子どもの権利条約”の考え方をもとに子どもが幸せに暮らせる社会をめざす法律「こども基本法」ができました。

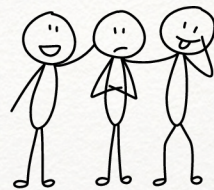
子どもは権利をもってるよ



いじめ、虐待、体罰、誘拐、性暴力、差別、偏見、、、残念ながら、今も多くの子どもがさまざまな暴力にあっています。殴られたり、けられたり、悪口を言われたり、無視されたらどうでしょう。暴力は、人の心とからだを傷つけ、その人のけんりを奪います。



“もしもに” 備えることーそれが予防（防止）です。多くのおとなは、子どもが危険な目にあわないで、安全な環境で安心して成長して欲しいと願っています。大切なけんり、心とからだを守るために、何ができるか考えておきましょう。



NO・・・「いや」と言っていよいよ。
GO・・・その場を離れていよいよ。
TELL・・・信頼できる人に話そう。
一人で抱え込まないで。
怖い秘密は守らなくていいよ。



子どもの“特別に大切な3つの権利”

あんしん・じしん・じゆう
安心・自信・自由がないと
感じるのは、暴力にあっ
て
いるかもしれないサイン。



なんかへん？

モヤモヤ

いやだ

こわ
怖い

かな
悲しい

じぶん かん きも だいじ ひょうげん
自分の感じる気持ちを大事にしよう。表現していいんだよ。

あんしん じしん じゆう きも かな はっき
安心・自信・自由の気持ちを感じているときは、あなたらしさが発揮できるよ。

CAPプログラムは、おとなと子どもに提供します。周囲のおとなも暴力に関して共通認識をもち、日常生活で子どもたちと復習・練習をすることで、いざというときに備えることができます。おとなワークショップ（対象：教職員/専門職、保護者/地域の人/支援者など。単独実施可）子どもワークショップ（対象：未就学児、小学生、中学生）詳細はホームページをご覧ください。





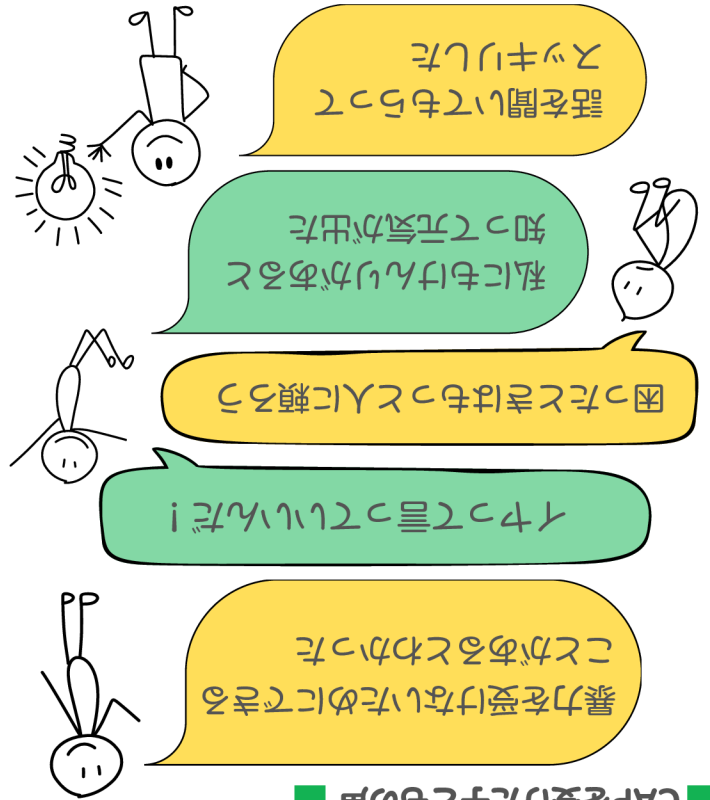
私には関係ない

なんだか怖い

暴力のこを考えるのって...



CAPを受けた子どもの声



CAPは子どもが安心・安全な生活を送るアイデアを増やすお手伝いをします。

そして、おとなはもっと考えて

子どもが子ども時代を楽しみ、安心・安全に遊べるように、泳ぎ方を教えることにしました。

もしもの話で考えてみよう！



ある村の子どもたちは、川で水遊びをよくしていました。しかし、何人もの子どもが川に流され、おぼれることがおきました。そこで、地域のおとなは、どうしたらいいか話し合いをしました。

川遊びを禁止するのはどうか



ずっと見張りを付けるのはどうか



川の周りに柵を立てるのはどうか



CAPは、従来の「～してはいけません」という禁止や、「～しなさい」という命令で危険回避の方法を伝えるのではなく、「～することができるよ」「～してもいいよ」と行動の選択肢を増やす働きかけを大事にします。

子どもの力を信じよう！

